



幸せを創り出す力を子ども達に

# キラリ☆加美っ子

令和4年10月7日  
加美小学校だより  
発行 校長 梶並裕子

## 秋深まり、学校の今・・・コロナ禍対策変革期に

新型コロナウイルスのために、学校の活動が制限されて3年になります。本当に長い長い時間でした。そのころ1年生だった子ども達も4年生になりました。地域の祭り、学校の行事、さまざまな体験が制限され、マスクをし、距離をとり、給食も笑い合いながら食べることもできなくなりました。時には遊びまで制限されました。そうした時間のなかで失われていったものはいったいなんだったのか。

今、学校は、新型コロナウイルスの感染防止策をとりながらも、少しずつ少しずつもとにもどってきています。いえ、まったく元にもどっているわけではなく、厳しい変化に対応しながら、新しい幕開けを迎えようとしているのかも知れません。

子ども達の大切な子ども時代に、制限が多かったけれど、子ども達の工夫もいっぱい生まれました。先生達の工夫もいっぱい生まれました。わたしたちは、ウィズコロナ社会の中で育つ子ども達が、心豊かにたくましく伸びていけるよう、さまざまな教育活動を充実させる責任があると考えています。

10月20日に、3年生は「大原美術館」に行って図工の授業をします！  
福武教育文化振興財団の企画で、県内初「美術館へ行こうプロジェクト」で美術館とコラボ

3年生は、10月20日に「大原美術館」図工の勉強に行きます。これは、福武財団が今年度から立ちあげた「美術館へ行こうプロジェクト」の一貫で、バス代、入館料を財団が用意してくださり、実現した企画です。加美小学校は県内初のこの企画の実証校としてコロナ禍前からお声をかけていただき、大原美術館と準備を進めておりました。

今年やっと実現できます。県内では、本校の他に岡山大学附属小学校が参加します。それに先だって、10月6日に大原美術館員さんが加美小に来てくださり事前学習が行われました。



10月4日 4年生が「劇団SKAT」の天野嵩晟さんから演技指導を受けました

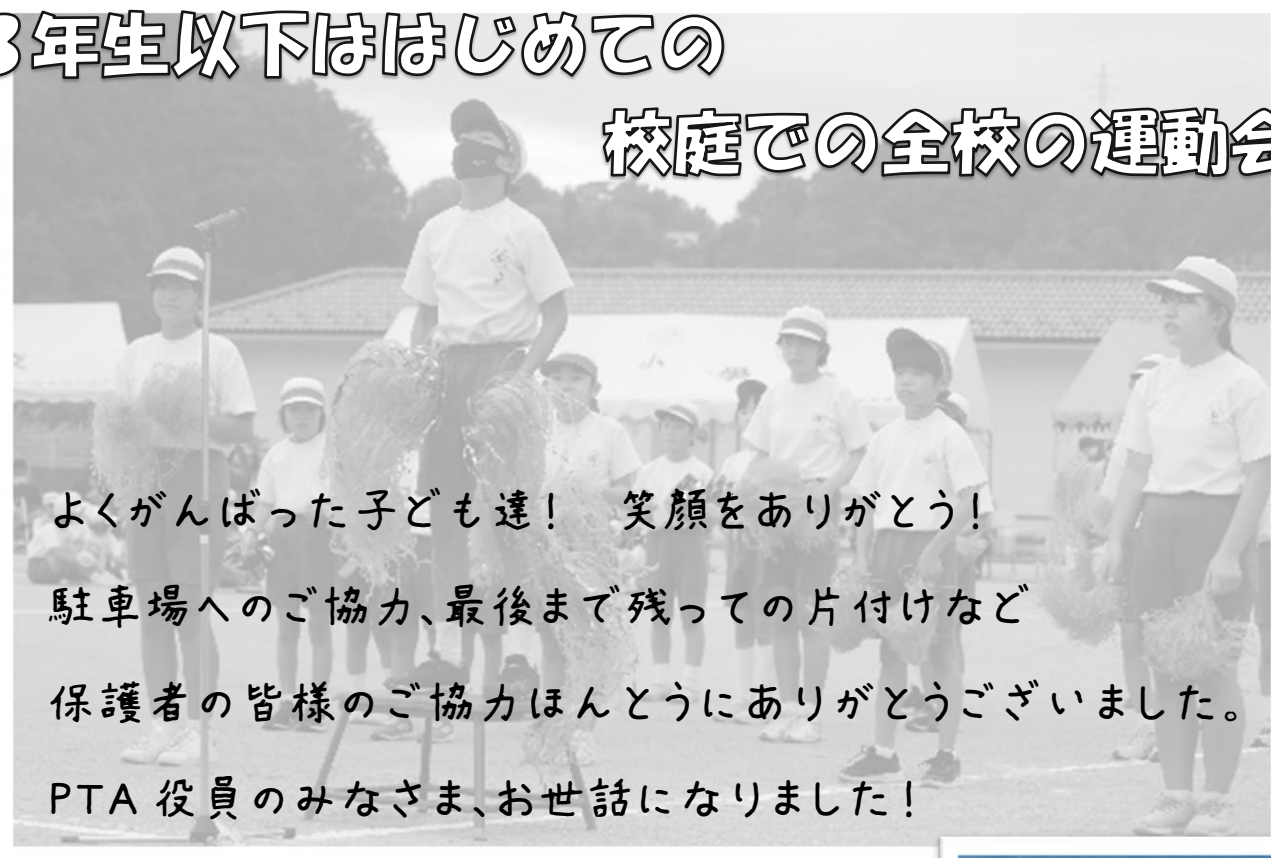


加美小学校では、4年生の教育課程に劇を取り入れ、高学年になる前に、「自分を表現する」ことに取り組んでいます。今年も劇団SKATの天野嵩晟さんに（県民共済のCMに出られています）指導に来ていただき、演劇の基礎を学びました。子ども達はプロの先生に教えてもらうのをとても楽しみにしていました。声だけでなく、演技する心や体作りの大切さも教えてもらいました。その後の自分達での練習でも「母音と子音に気をつけて発音しよう」「もっとゆっくり言うてみて」と、友達同士で劇をよくしようと話し合っていました。4年生の児童の感想「劇の基本を教わりました。声の出し方とか、心を伝えることが大切だとか、どうすればいい劇になるのか教えてくださいましたので、自分でやってみようと思いました。」「けっこう難しいと思いましたが、自分の役でがんばってみようと思いました。」



10月6日 大原美術館員による事前指導（加美小）  
10月20日 大原美術館で図工授業  
10月25日 大原美術館員による事後指導（加美小）

## 3年生以下ははじめての校庭での全校の運動会



よくがんばった子ども達！ 笑顔をお礼に！  
駐車場へのご協力、最後まで残ったの片付けなど  
保護者の皆様のご協力ほんとうにありがとうございました。  
PTA 役員のみなさま、お世話になりました！

9月17日（土）本当に久しぶりに学校の校庭で運動会を行いました。3年生以下の児童にとっては、初めての校庭で全校での運動会でした。それでもコロナ感染防止のため、応援団しか声をだせなかったり、熱中症指数が高くて練習ができなかったりと、制約がたくさんある運動会でしたが、6年生を中心にとっても工夫をして開催してくれました。

6年生は、リーダーとしてとても忙しかったと思います。しかし皆さんのアイデアを出して責任感を全うしてくれました。他の学年も昨年縮小していたために未経験な部分もたくさんあったにも関わらず、「笑顔で見に来てくれた人を喜ばす」と目標を決めて取り組んだり、上学年が下学年に教えたりと本当に短い練習でよくがんばりました。加美小で子ども達と、子ども達を思う保護者のみなさんと

心ひとつに開催できたこと心よりお礼申し上げます。



### お知らせ 令和4年度学習発表会について

今年度も感染防止対策のため、誠に残念ですが、地域のかたをお呼びせず、開催いたします。詳細につきましては追って保護者の皆様にご連絡をいたします。

